

受験申請受付期間 2022年

7月20日(水)～8月10日(水)

試験実施期間 2022年

9月1日(木)～9月14日(水)

受験申請方法

家電製品協会 認定センターホームページよりインターネットによる受験申請をお願いします。受験料は、クレジットカード、コンビニエンスストアなどの電子決済でお願いします。

科目合格された方に

2021年9月または2022年3月の試験に科目合格された方は、当該科目の試験を免除します。アドバイザー AV情報家電または生活家電の資格をお持ちの方は、CSと関連法規(共通科目)の試験を免除します。

受験申請から資格取得まで(CBT方式試験の基本フロー)



資格と試験科目	受験資格	試験科目	
スマートマスター	スマートマスター	スマートハウスの基礎	スマートハウスを支える機器・技術の基礎
家電製品アドバイザー	AV情報家電	商品知識と取扱い	(共通科目) CSと関連法規
	生活家電	商品知識と取扱い	
家電製品エンジニア	AV情報家電	基礎技術	応用技術
	生活家電	基礎技術	応用技術

受験手数料(消費税込み)

スマートマスター		スマートマスター 科目免除受験者	
受験科目	スマートマスター2科目受験	受験科目	試験科目の免除により1科目を受験
受験手数料	9,400円	受験手数料	6,200円
家電製品アドバイザー		家電製品アドバイザー 科目免除受験者	
受験科目	AV情報家電・生活家電3科目受験	受験科目	試験科目の免除により2科目を受験
受験手数料	15,600円	受験手数料	12,400円
受験科目	AV情報家電または生活家電いずれかを受験(2科目)	受験科目	試験科目の免除により1科目を受験
受験手数料	9,400円	受験手数料	6,200円
家電製品エンジニア		家電製品エンジニア 科目免除受験者	
受験科目	AV情報家電・生活家電4科目受験	受験科目	試験科目の免除により2科目を受験
受験手数料	18,800円	受験手数料	12,400円
受験科目	AV情報家電または生活家電いずれかを受験(2科目)	受験科目	試験科目の免除により1科目を受験
受験手数料	9,400円	受験手数料	6,200円

※いったん払い込まれた受験手数料は、当協会の都合により試験を中止した場合を除き、返却いたしませんのでご注意ください。
※本試験について実施内容の変更などが生じた場合、都度ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

有資格者もエグゼクティブ等級(ゴールドグレード・プラチナグレード)に挑戦できます!
アドバイザーおよびエンジニアの資格を保有されている方が、エグゼクティブ等級の取得を目指して受験される場合、「エグゼクティブ・チャレンジ」という受験制度を準備しています。詳しくは下記の一般財団法人家電製品協会認定センターのホームページにてご確認ください。



DXの時代に 3つの資格



スマート化する
住まいと暮らしの
スペシャリスト

スマート マスター



家電販売の
プロフェッショナル

家電製品 アドバイザー



家電技術の
プロフェッショナル

家電製品 エンジニア

2022年9月
第43回

資格認定試験

受験申請受付期間

2022年 7月20日(水)～8月10日(水)

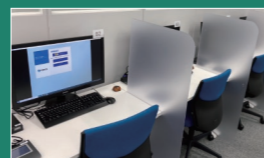
試験実施期間

2022年 9月 1日(木)～9月14日(水)

資格更新の申請受付
も開始します!

- 資格更新対象: 2022年 11月1日付 資格更新者(同年10月31日で資格の有効期限を迎える方)
- 申請受付期間: 2022年 8月1日(月)～10月31日(月)

家電製品アドバイザー・家電製品エンジニアのワンランク上のプロフェッショナル **エグゼクティブ・チャレンジも実施**



DX時代のスタンダードな試験スタイル

CBT方式試験

Computer Based Testing

- 受験日時と受験会場を自分で選べる
- 新型コロナウイルス感染防止にも配慮

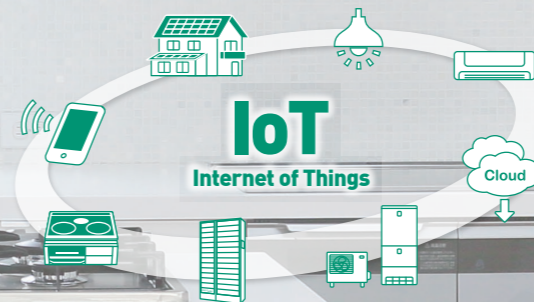
ホームページにてCBT方式試験の疑似体験ができます!





スマート化する“住まい”と“暮らし”のスペシャリスト

スマートマスター



「スマートマスター」学習用テキスト概要

書名:「スマートマスター 2022年版
～スマート化する住まいと暮らしのスペシャリスト～」

出版社:株式会社NHK出版

定価:4,180円(税込)

体裁:B5版並製/488ページ(オール2色)

発売:2022年5月25日

書名:「スマートマスター資格
問題&解説集 2022年版」

出版社:株式会社NHK出版

定価:1,870円(税込)

体裁:B5版並製/180ページ(オール1色)

発売:2022年5月25日

スマートマスターとは

「スマートマスター」は、スマートハウスのスペシャリストとして、家の構造・性能に関する知識、家電製品から住宅設備、さらにはエネルギーマネジメントまで、それらに関する技術や商品の動向を理解し、様々な製品やサービスを組み合わせる横断的な知識をもって、消費者個々のニーズに合ったスマートハウスの構築を支援します。

本資格制度では、「スマートマスター」を養成し認定するために、育成カリキュラムや学習テキストの提供、認定試験の実施、さらには資格取得後の継続学習の支援などが準備されています。

一般財団法人 家電製品協会は、本資格制度を推進することを通して、IoT 時代をリードし、かつスマートハウスが生み出す環境保護上および家庭生活上のメリットを広く社会に認知させることができる人材「スマートマスター」を育成してまいります。



※カード写真はイメージです。

資格設立の背景

IoT や AI、ロボットなどの革新的な技術の普及に伴い、消費者のライフスタイルは大きく変わりつつあります。

今後普及が進んでいくことが期待されているスマートハウスは、これらの技術を駆使することにより、住宅メーカーはもとより、電力・ガスなどのエネルギー供給事業者、電機メーカー、住宅設備事業者、通信事業者など様々な事業者が、それぞれに新たな製品・サービスを提供し、家庭におけるエネルギー消費効率を高めると共に、その家に暮らす人々の利便性・快適性・安全性などを向上させていきます。

このような状況の中で、消費者との接点としてスマートハウス関連の体系的な知識(業界横断的な共通知識)を持つ人材が必要となっています。

スマートマスター試験概要・資格要件

スマートマスター試験概要

- | | | | |
|--------------------|-----------------|-------------------|---|
| 1. 資格名称 | : スマートマスター | 4. 試験科目 | : 「スマートハウスの基礎」
「スマートハウスを支える機器・技術の基礎」の2科目 |
| 2. 受験資格 | : 特に制限はありません | 5. 資格の有効期間 | : 資格交付日より5年間(資格更新制度あり) |
| 3. 試験スケジュール | : 毎年9月・3月の年2回実施 | 6. 受験料 | : 2科目 9,400円(税込)
1科目 6,200円(税込) |

資格要件(概略)

1. スマートハウスの将来性とメリットについて説明できる。
2. ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)構築のための構成要件とその推進手順を理解している。
3. スマートハウス化に向けたリフォームビジネスのポイントを理解し、実務のための基礎ができている。
4. HEMS やスマートメーター等、住まいの省エネ化・ZEH 化のための基幹システムの構成や機能について説明できる。
5. 太陽光発電や蓄電池ほか、主要なエネルギー関連商材について説明できる。
6. 暮らしの安全・安心・快適を実現するための家電製品等各種機器の基礎知識を有している。
7. IoT や AI、ロボットなどの新たな技術の基礎とそれらがインフラとなって実現される暮らしのサービスなどについて理解している。
8. スマートハウス構築に必要な法規やルールを理解するとともに、お客様に対する説明スキルを身につけている。

試験科目と主な内容

試験科目	主な内容	
スマートハウスの基礎	スマートハウス概論	総論、中心課題たるエネルギー問題、住宅建築総論
	スマートハウスのコア知識	住宅・建築物の省エネルギー化、省エネルギー住宅の種類と施策・制度、スマート化リフォーム、関連法規、HEMS、スマートメーター、エネルギー機器・技術
スマートハウスを支える機器・技術の基礎	スマートハウスで期待されるさまざまな暮らしのサービス(ホームヘルスケアサービス、ホームセキュリティサービス、快適生活サービス) スマートハウスに共通の機器と技術(モバイルサービスを実現する端末機器と技術、通信技術) CS・関連法規	

- * 家電製品総合アドバイザーもしくは家電製品総合エンジニアの資格を保有している方については、スマートハウスを支える機器・技術の基礎の試験を免除します。
- * 試験の結果、資格の取得には至らなかったものの、いずれかの科目が合格基準に達した場合、その後2回(1年以内)の受験に限り、合格基準に達した科目の試験は免除します。
- * スマートマスター資格には、エグゼクティブ等級制度はありません。

資格の有効期間

スマートマスター資格の有効期間は5年間です。

資格を引き続き保有する場合は、資格更新手続きを行い、所定のカリキュラムを学習し、資格更新試験に合格されますと、さらに5年間の資格を保有できます。

家電販売のプロフェッショナル

家電製品アドバイザー

家電の販売・営業及び接客のプロフェッショナルとして、消費者の商品選択、使用方法、不具合対応、廃棄等についてお客様を的確にリードしアドバイスする方々のための資格です。

家電製品アドバイザーの習得知識・技術

1. 販売実務知識、接客マナー及びコミュニケーション力を持っている。
2. 対象品目の基本動作原理、仕組み、上手な使い方、安全な使い方、禁止事項などに関する知識があり、分かり易く説明できる。
3. 据付、接続、セットアップ、調整等に関する技術知識ならびに設置に関する業務知識を有し、適切なアドバイスができる。
4. 不具合発生時の一次対応力を有していること、および、故障と間違われやすい事象について、製品故障か使用方法の不適切かの切り分けができる。
5. 省エネに関する基本知識を有し、各製品の省エネ機能などの使用方法や効果的な節電方法などについて適切なアドバイスができる。
6. 電気安全に関する知識を有し、適切なアドバイスができる。
7. 「消費者保護」「製品安全」「省エネ・環境」等の法規に関する知識を有し、適切な運用ができる。
8. 家電関連技術や家電製品の先端動向など、消費者が関心を寄せる時事的なテーマについて適切かつ分かりやすく説明できる。



家電技術のプロフェッショナル

家電製品エンジニア

家電の設置、セットアップ、トラブル対応のプロフェッショナルとして、お客様の家電ライフをエンジニアの立場から支援する方々のための資格です。

家電製品エンジニアの習得知識・技術

1. 各種家電製品の基礎理論と動作原理を理解している。
2. 不具合の原因を各種要因に切り分けることができる。
3. 論理的で合理性のある診断と処置の方法を理解し、実行できる。
4. 必要な治工具・測定器を使うことができる。
5. 安全点検の知識および関連する法規の知識を有し、実行できる。
6. 消費者に家電製品の安全で上手な使い方等について、適切な指導をすることができる。
7. 家電関連の技術トレンドを把握し、市場に顕在化している先端技術の概要や実務への応用方法、あるいは、その可能性などを理解し、消費者等に分かりやすく説明できる。



ワンランク上のプロフェッショナル エグゼクティブ等級

エグゼクティブ等級である「ゴールドグレード」と「プラチナグレード」は、家電製品アドバイザーおよび同エンジニアの試験において、優れた成績で合格された方に付与します。詳しくはホームページをご覧ください。



※カード写真はイメージです。